

令和7年度
神奈川県人権意識調査
調査結果報告書
(概要版)

2026年3月

神奈川県福祉子どもみらい局

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査の方法	2
3. 調査の項目	2
4. 調査票回収結果	2
5. 集計方法	3
6. 調査結果の見方	3
7. 標本構成	4
II 調査の結果	6
1. 人権について	7
2. 子どもの人権について	12
3. 女性の人権について	14
4. 障がい者の人権について	16
5. 高齢者の人権について	18
6. 疾病等に関する人権課題について	20
7. 同和問題（部落差別）について	22
8. 外国籍県民等の人権について	24
9. 貧困等に関する人権課題について	25
10. 犯罪被害者等の人権について	27
11. 北朝鮮当局による拉致問題に関する人権課題について	29
12. 性的マイノリティに関する人権について	29
13. インターネットによる人権侵害について	30
14. その他	31
15. 自由記述欄	32

I 調査の概要

1. 調査の目的

神奈川県の人権施策の方向性を定めた「かながわ人権施策推進指針」の改定の基礎的な資料とするため、神奈川県内における、県民の人権意識の調査・分析を実施し、改定の検討に役立てることを目的とする。

2. 調査の方法

- (1) 調査地域：神奈川県内全域
- (2) 調査対象：神奈川県内に在住する18歳以上の個人 3,047人
(インターネット調査登録モニター：約27万人)
- (3) 調査方法：インターネットを利用したアンケート調査
(登録モニターのうち、調査条件に合致し、回答のあった者を集計)
- (4) 調査期間：令和7年10月28日(火)～10月30日(木)
- (5) 調査実施機関：株式会社ジック

3. 調査の項目

- (1) 人権について
- (2) 子どもの人権について
- (3) 女性の人権について
- (4) 障がい者の人権について
- (5) 高齢者の人権について
- (6) 疾病等に関する人権課題について
- (7) 同和問題(部落差別)について
- (8) 外国籍県民等の人権について
- (9) 貧困等に関する人権課題について
- (10) 犯罪被害者等に関する人権について
- (11) 北朝鮮当局による拉致問題に関する人権課題について
- (12) 性的マイノリティに関する人権について
- (13) インターネットによる人権侵害について
- (14) その他

4. 調査票回収結果

有効回答数：3,047 件

5. 集計方法

単純集計と、属性及び設問間でクロス集計を行った。

なお、属性別のクロス集計結果については、当該属性の設問の回答者数を全体数としており、全体集計の数とは差異がある場合がある。

6. 調査結果の見方

- (1) n は質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す割合算出の基数である。設問によっては、回答対象が限られるため、有効回答数にならない場合がある。
- (2) 設問により回答がなくても、全体のいずれかに回答していれば、有効回答数に含める。
- (3) 地域別集計及び年代別集計、性別集計では、無回答の場合を除いているため、全体数と合計n数が合致しない場合がある。
- (4) 百分比は n を 100.0%として算出し、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示している。このため、百分比の合計が 100.0%に満たない場合や、上回る場合がある。
- (5) 1回答者が2つ以上の回答をしてもよい複数回答の設問では、百分比の合計が 100.0%を上回る場合がある。
- (6) 本文や図表中の選択肢表記では、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (7) 無作為抽出を用いた場合の標本誤差（サンプル誤差）は、信頼度を 95%としたとき、次の式によって得られる。標本誤差の幅は、割合算出の基数（n）、及び回答割合（P）によって異なる。

<標本誤差の計算式>

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (1-P)}{n}}$$

N = 母集団数
n = 回答件数
P = 回答割合 (%)

<標本誤差早見表>

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%
3,047 人	±1.07	±1.42	±1.63	±1.74	±1.78
1,000 人	±1.86	±2.48	±2.84	±3.04	±3.10
500 人	±2.63	±3.51	±4.02	±4.29	±4.38
300 人	±3.39	±4.53	±5.19	±5.54	±5.66
100 人	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

※母集団は神奈川県全体の満18歳以上人口 7,767,938 人である。（令和7年1月1日）

<標本誤差の見方>

例えば、「ある設問の回答者数が 3,047 であり、その設問中の回答割合が 60%であった場合、その回答割合の誤差の範囲は最高でも 1.74%以内（58.26～61.74）である」とみることができる。

ただし、信頼度が 95%であるので、そのように判断することは 95%の確率で正しいことになる。

7. 標本構成

(1) 地域

	回答数	割合
横浜地域（横浜市）	1,355	44.5%
川崎地域（川崎市）	536	17.6%
横須賀三浦地域	184	6.0%
県央地域	477	15.7%
湘南地域	397	13.0%
県西地域	98	3.2%
合計	3,047	100.0%

※横須賀三浦地域（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）

※県央地域（相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村）

※湘南地域（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町）

※県西地域（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町）

(2) 年代

	回答数	割合
20代以下	247	8.1%
30代	763	25.0%
40代	364	11.9%
50代	638	20.9%
60代	632	20.7%
70代以上	370	12.1%
答えたくない	33	1.1%
合計	3,047	100.0%

(3) 性別

	回答数	割合
男性	1,507	49.5%
女性	1,510	49.6%
その他	6	0.2%
答えたくない	24	0.8%
合計	3,047	100.0%

(4) 職業

	回答数	割合
正規の職員、従業員（役員等を含む）	1,172	38.5%
非正規の職員、従業員（パート、アルバイト、契約、嘱託、派遣等）	630	20.7%
自営業、自由業	166	5.4%
主婦、主夫	493	16.2%
生徒、学生	36	1.2%
無職	485	15.9%
その他	16	0.5%
答えたくない	49	1.6%
合計	3,047	100.0%

(5) 年収

	回答数	割合
無収入	108	3.5%
200万円未満	272	8.9%
200～300万円未満	233	7.6%
300～400万円未満	308	10.1%
400～500万円未満	279	9.2%
500～700万円未満	398	13.1%
700～900万円未満	291	9.6%
900～1,100万円未満	198	6.5%
1,100～1,300万円未満	94	3.1%
1,300～1,500万円未満	61	2.0%
1,500～2,000万円未満	79	2.6%
2,000万円以上	54	1.8%
わからない	672	22.1%
合計	3,047	100.0%

(6) 障がいの有無

	回答数	割合
障がいがある	235	7.7%
障がいがない	2,571	84.4%
分からない	105	3.4%
答えたくない	136	4.5%
合計	3,047	100.0%

(7) 国籍

	回答数	割合
日本国籍	2,960	97.1%
日本国籍以外	11	0.4%
分からない	19	0.6%
答えたくない	57	1.9%
合計	3,047	100.0%

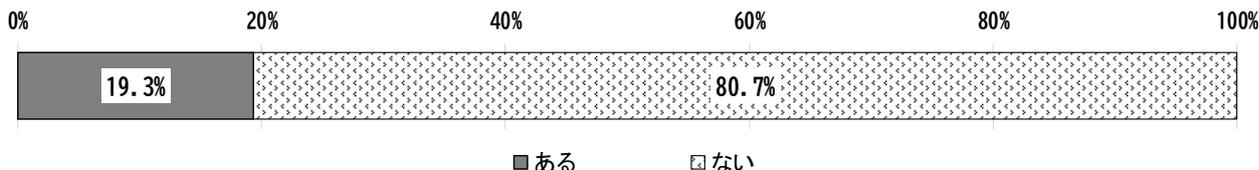
Ⅱ 調査の結果

1. 人権について

問1 あなたは、日常生活の中で、自分自身、または周りの人（家族や友人、職場の同僚など）の人権が尊重されていないと感じたことはありますか。（単一回答）

日常生活の中で自身及び周りの人が人権が尊重されていないと感じたことについては、「ある」が19.3%で、「ない」が80.7%となった。

【全体集計】 n=3,047

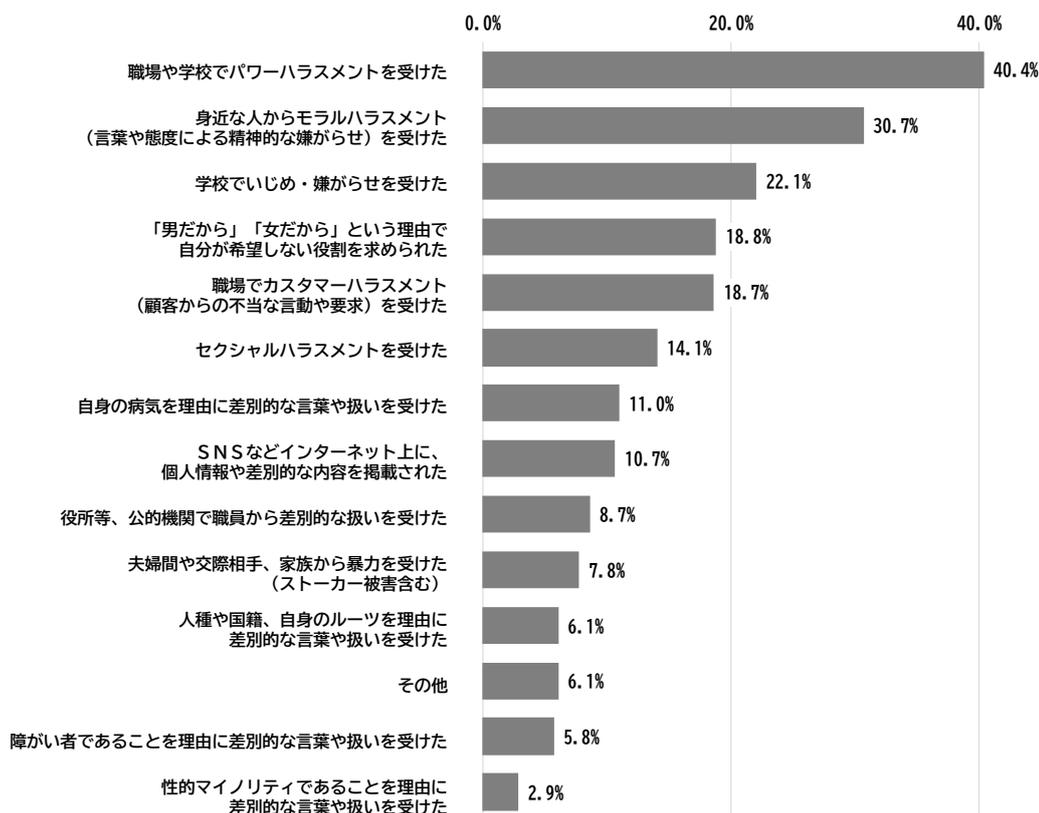


【問1で「ある」と答えた方のみ】

問2 それはどのような内容ですか。（複数回答）

人権が尊重されていないと感じた具体的な項目として、「職場や学校でパワーハラスメントを受けた」の40.4%が最も高く、次いで「身近な人からモラルハラスメント（言葉や態度による精神的嫌がらせ）を受けた」が30.7%、「学校でいじめ・嫌がらせを受けた」が22.1%となった。

【全体集計】 n=589

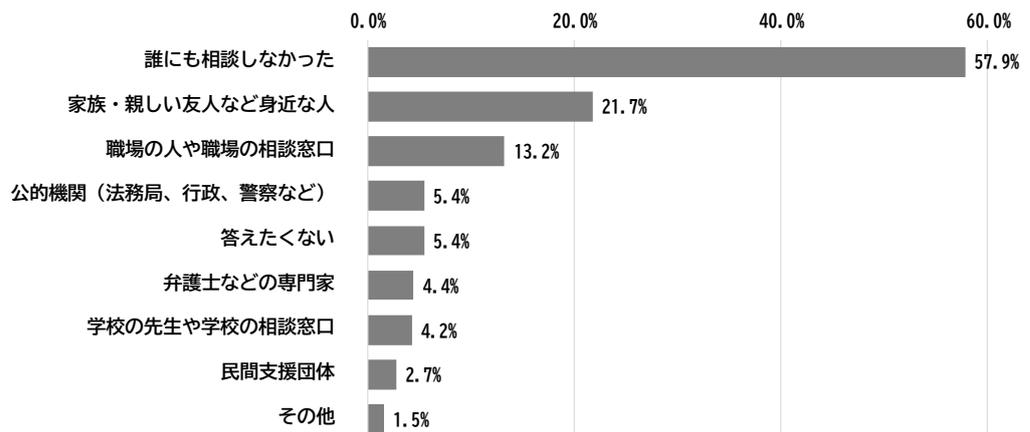


【問1で「ある」と答えた方のみ】

問3 だれに相談しましたか。（複数回答）

日常生活の中で自身及び周りの人の人権が尊重されていないと感じた人が相談した相手を聞く設問では、「誰にも相談しなかった」の57.9%が最も高く、次いで「家族・親しい友人など身近な人」が21.7%、「職場の人や職場の相談窓口」が13.2%となった。

【全体集計】 n=589

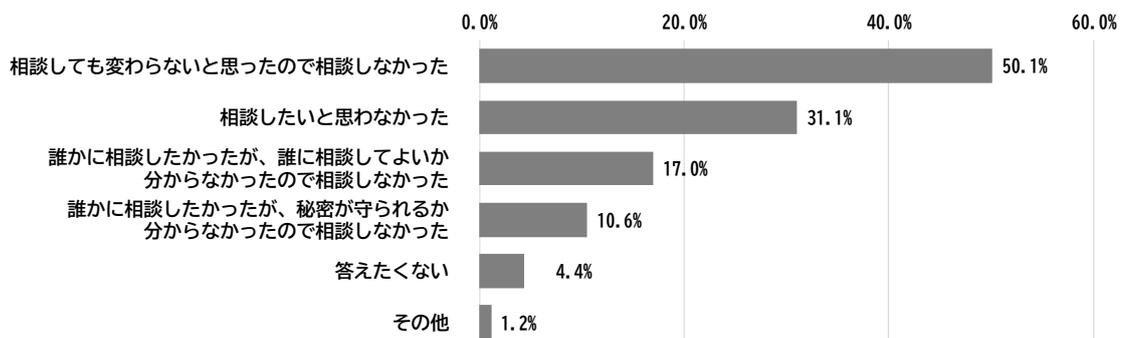


【問3で「誰にも相談しなかった」と答えた方のみ】

問3-2 誰にも相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）

「誰にも相談しなかった」を選択した人の理由として、「相談しても変わらないと思ったので相談しなかった」の50.1%が最も高く、次いで「相談したいと思わなかった」が31.1%、「誰かに相談したかったが、誰に相談してよいか分からなかったので相談しなかった」が17.0%となった。

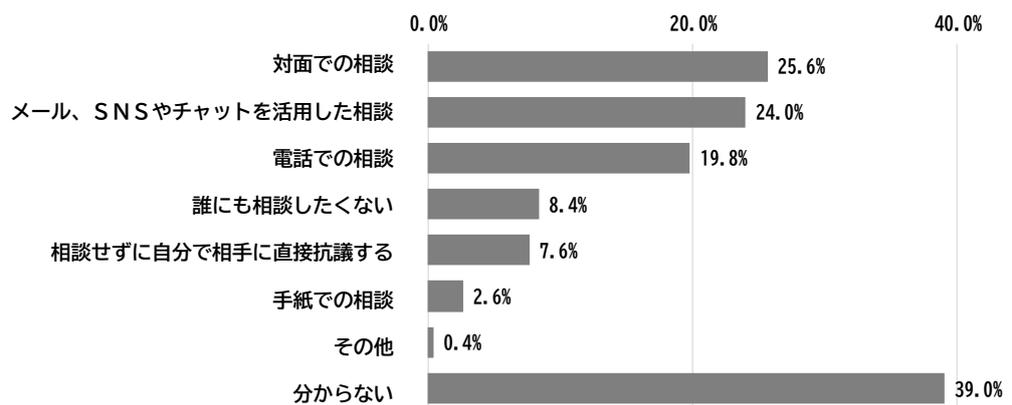
【全体集計】 n=341



問4 あなたが人権侵害に直面したときに、どのような方法なら相談しようと思いますか。
(複数回答)

人権侵害に直面したときに、どのような方法なら相談しようと思うかについて、「対面での相談」の25.6%が最も高く、次いで「メール、SNSやチャットを活用した相談」が24.0%となった。「分からない」が39.0%となった。

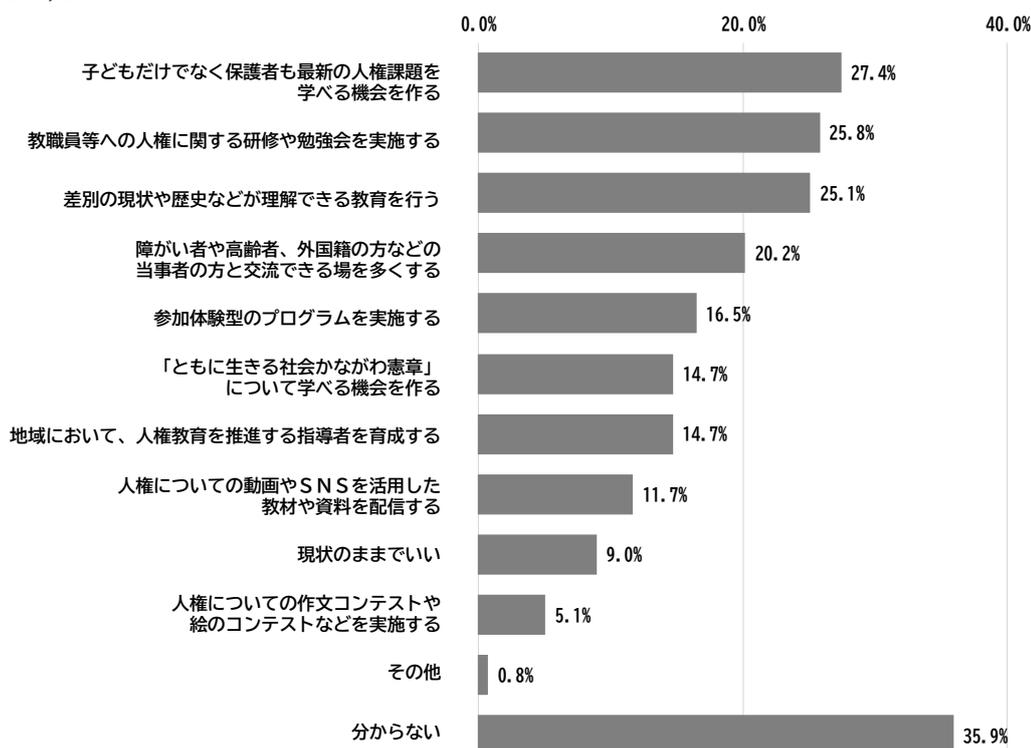
【全体集計】 n=3,047



問5 人権教育を促進していくためには、学校においてどのような取組を進めていけばよいと思いますか。（複数回答）

人権教育を促進していくための学校においてどのような取組を進めていけばよいと思うかについて、「子どもだけでなく保護者も最新の人権課題を学べる機会を作る」の27.4%が最も高く、次いで「教職員等への人権に関する研修や勉強会を実施する」が25.8%となった。「分からない」が35.9%となった。

【全体集計】 n=3,047



「ともに生きる社会かながわ憲章」とは

平成28年7月26日、県立の障害者支援施設である「津久井やまゆり園」において19人が死亡し、27人が負傷するという、大変痛ましい事件が発生しました。

この事件は、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと伝えられ、障がい者やそのご家族のみならず、多くの方々に、言いようもない衝撃と不安を与えました。

私たちは、これまでも「ともに生きる社会かながわ」の実現をめざしてきました。

そうした中でこのような事件が発生したことは、大きな悲しみであり、強い怒りを感じています。

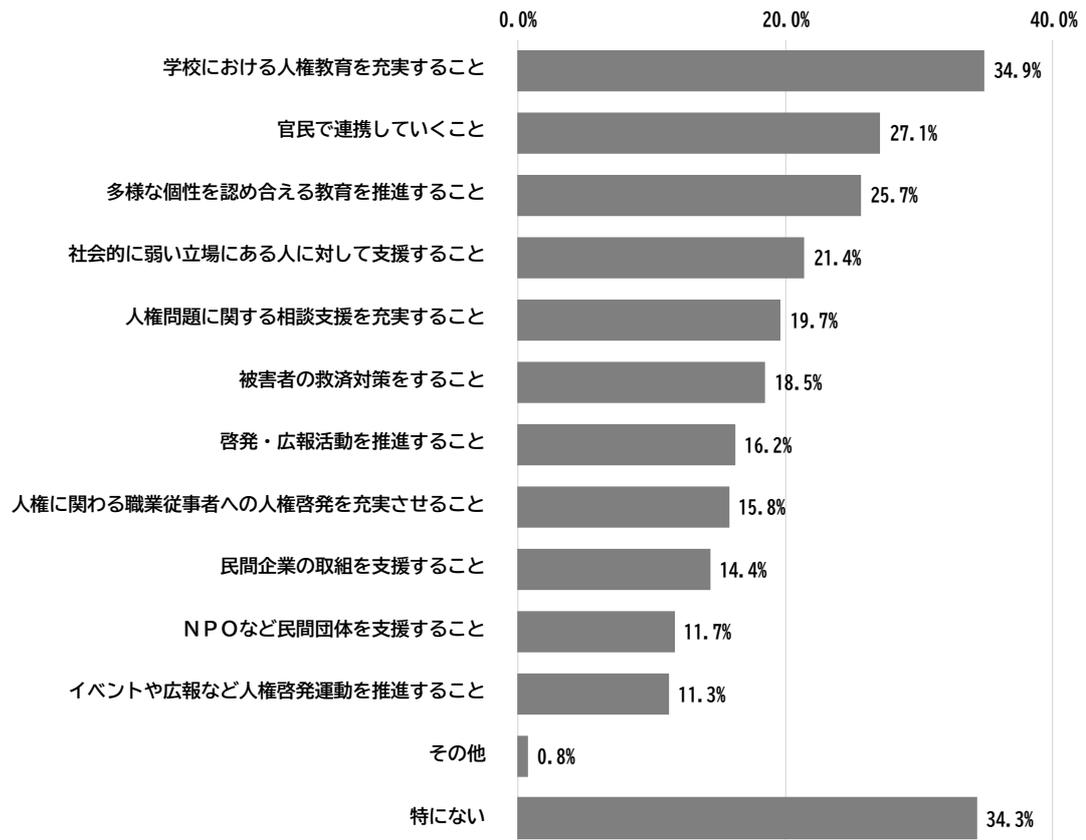
このような事件が二度と繰り返されないよう、私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、ともに生きる社会の実現をめざし、ここに「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めます。

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

問6 人権施策を推進していくために重要なことは何だと思えますか。（複数回答）

人権施策を推進していくために重要だと思うことは、「学校における人権教育を充実すること」の34.9%が最も高く、次いで「官民で連携していくこと」が27.1%となった。「特にない」が34.3%となった。

【全体集計】 n=3,047

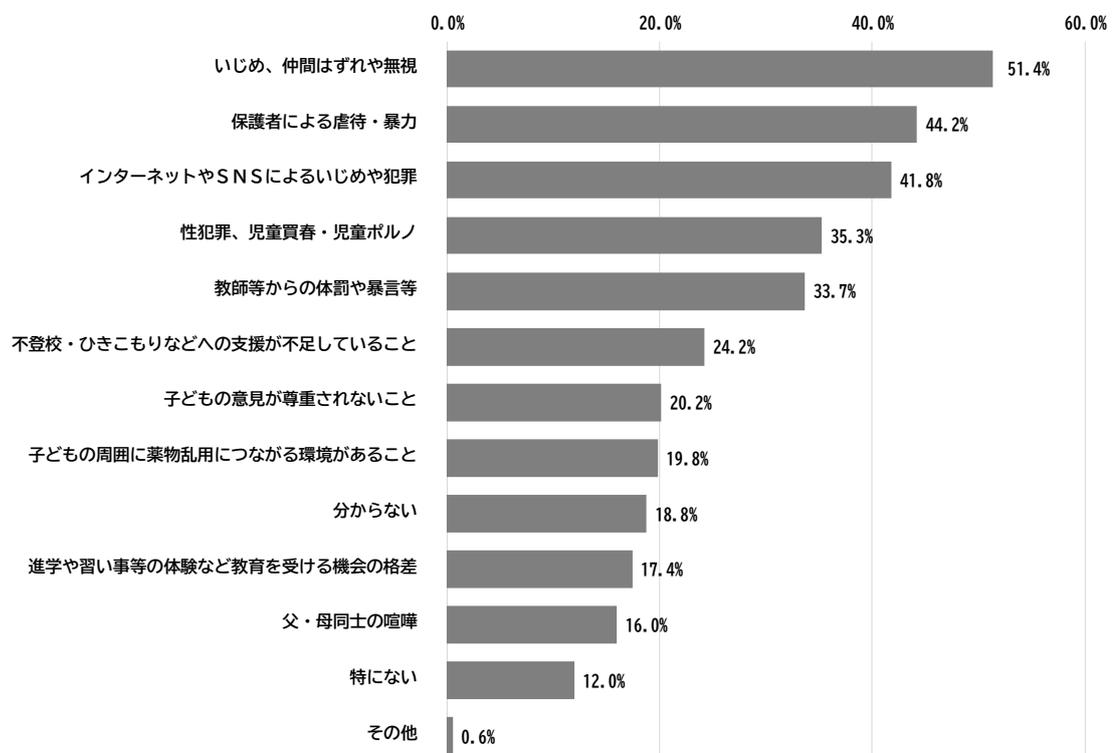


2. 子どもの人権について

問7 子どもの人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(複数回答)

子どもの人権が尊重されていないと感じる状況は、「いじめ、仲間はずれや無視」の51.4%が最も高く、次いで「保護者による虐待・暴力」が44.2%、「インターネットやSNSによるいじめや犯罪」が41.8%となった。

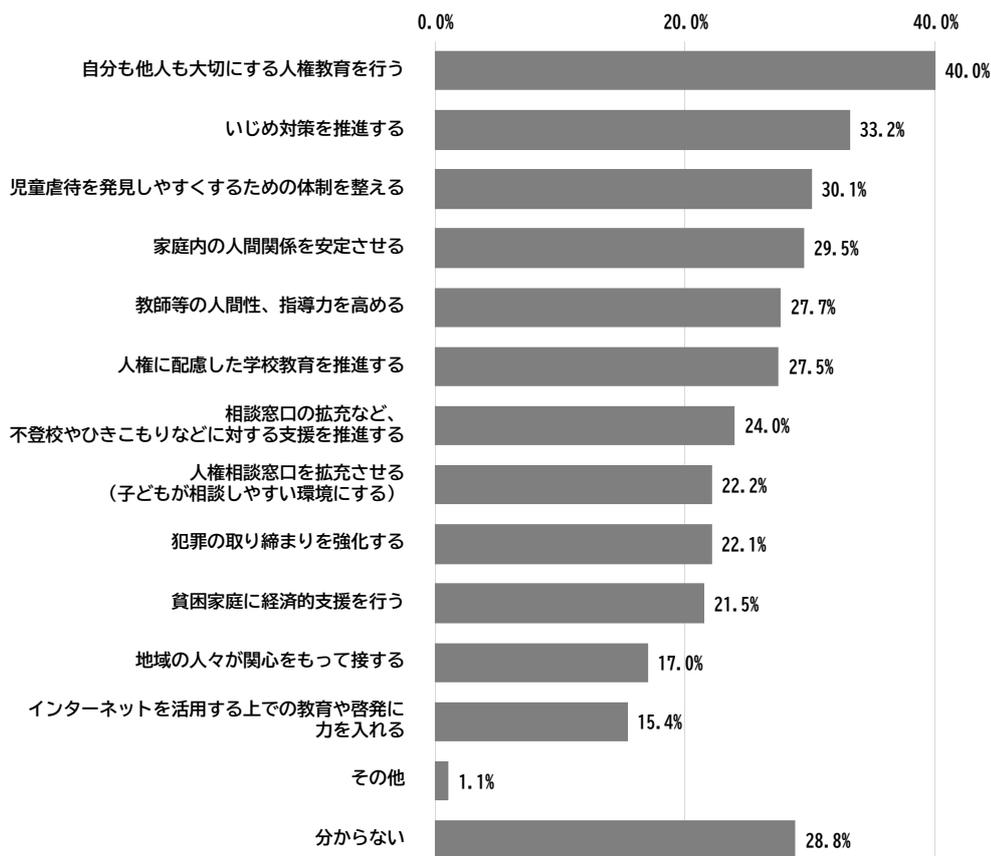
【全体集計】 n=3,047



問8 子どもの人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

子どもの人権を守るために必要だと思うことは、「自分も他人も大切に人権教育を行う」の40.0%が最も高く、次いで「いじめ対策を推進する」が33.2%、「児童虐待を発見しやすくするための体制を整える」が30.1%となった。

【全体集計】 n=3,047

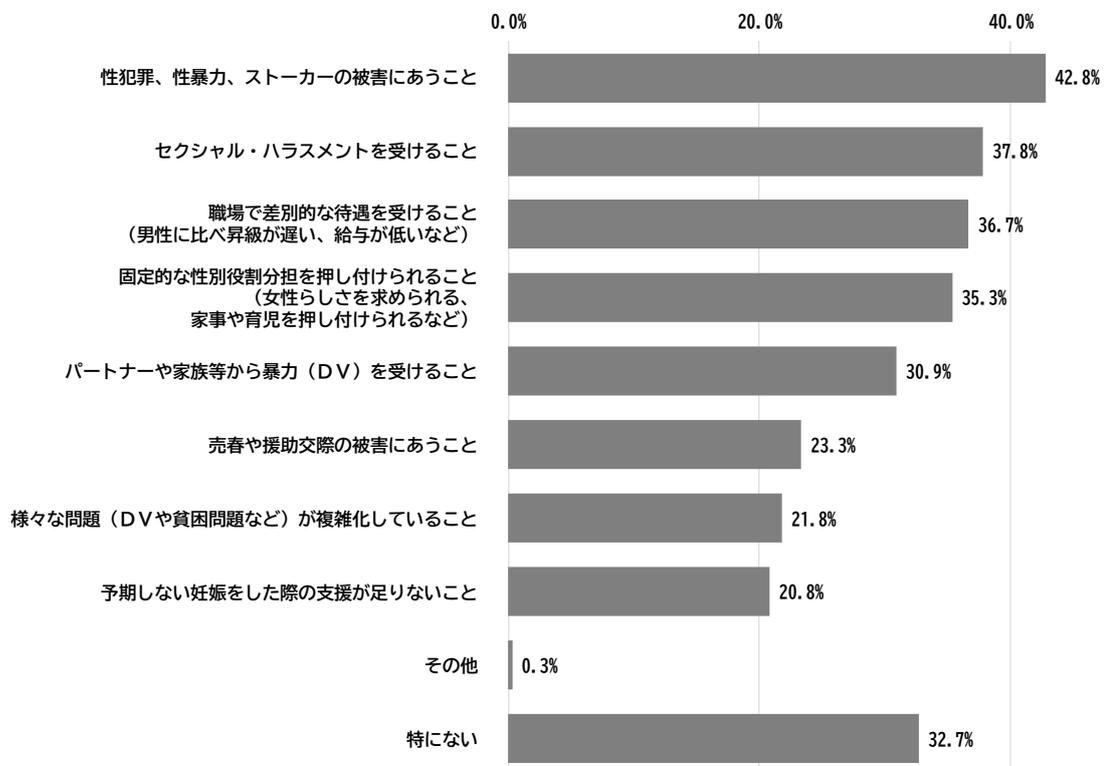


3. 女性の人権について

問9 女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(複数回答)

女性の人権が尊重されていないと感じる状況は、「性犯罪、性暴力、ストーカーの被害にあうこと」の42.8%が最も高く、次いで「セクシャル・ハラスメントを受けること」が37.8%、「職場で差別的な待遇を受けること（男性に比べ昇級が遅い、給与が低いなど）」が36.7%となった。

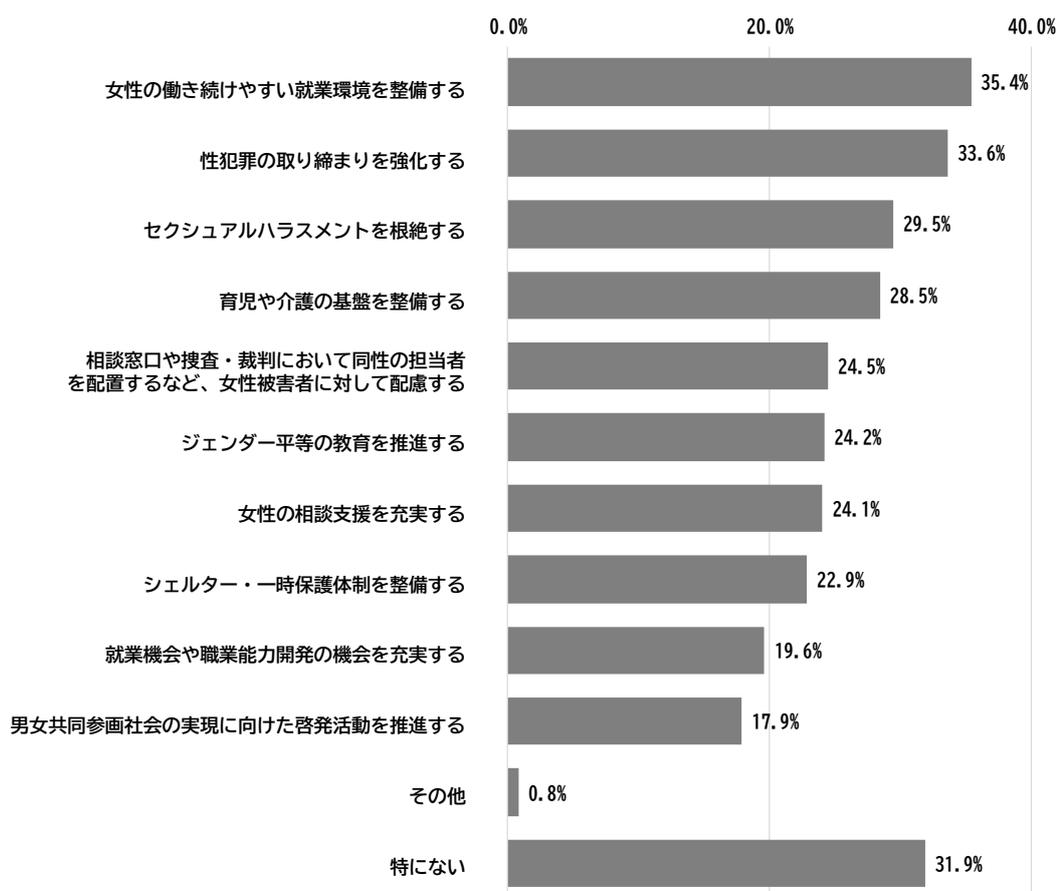
【全体集計】 n=3,047



問10 女性の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

女性の人権を守るために必要だと思うことは、「女性の働き続けやすい就業環境を整備する」の35.4%が最も高く、次いで「性犯罪の取り締まりを強化する」が33.6%となった。「特にない」が31.9%となった。

【全体集計】 n=3,047

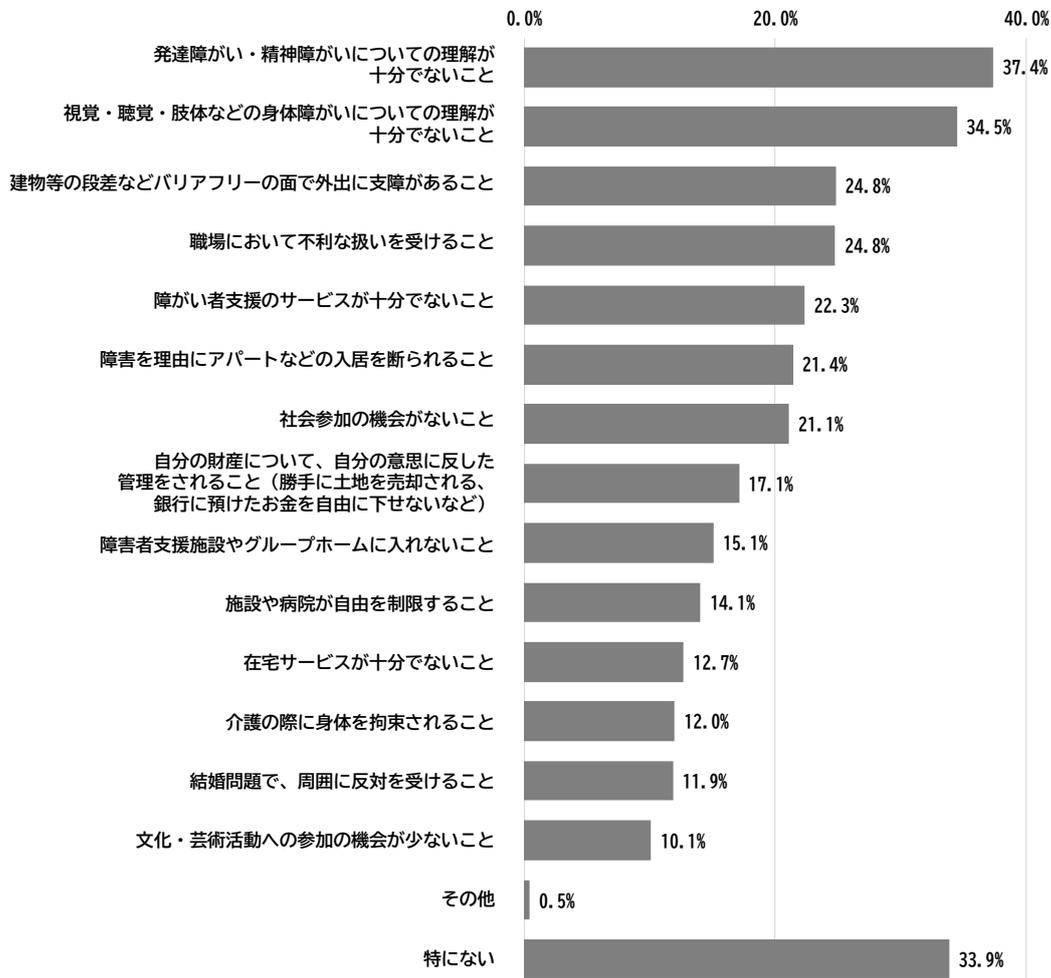


4. 障がい者の人権について

問11 障がい者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(複数回答)

障がい者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「発達障がい・精神障がいについての理解が十分でないこと」の37.4%が最も高く、次いで「視覚・聴覚・肢体などの身体障がいについての理解が十分でないこと」が34.5%となった。「特にない」が33.9%となった。

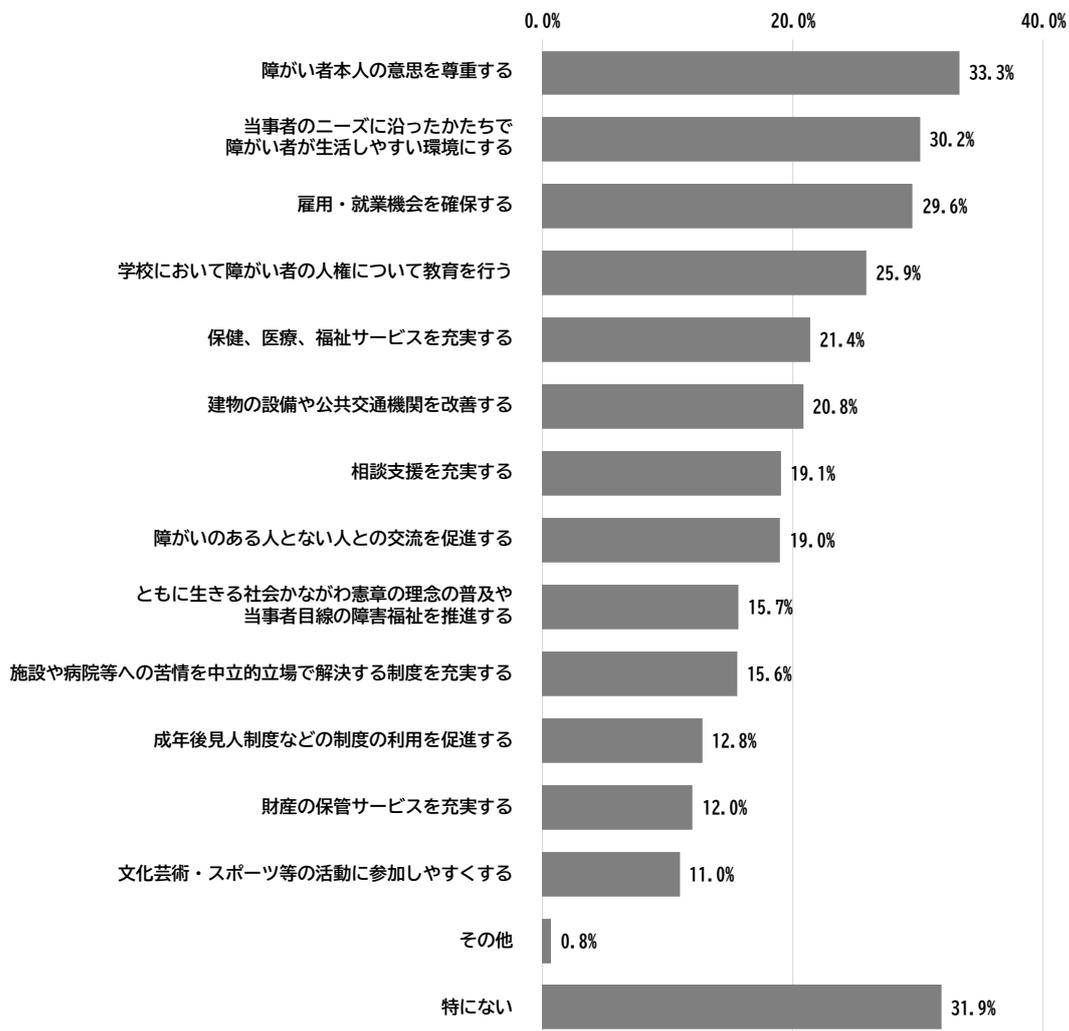
【全体集計】 n=3,047



問12 障がい者の人権を守り、ともに生きる社会を実現していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。（複数回答）

障がい者の人権を守り、ともに生きる社会を実現していくために重要だと思うことは、「障がい者本人の意思を尊重する」の33.3%が最も高く、次いで「当事者のニーズに沿ったかたちで障がい者が生活しやすい環境にする」が30.2%となった。「特にない」が31.9%となった。

【全体集計】 n=3,047

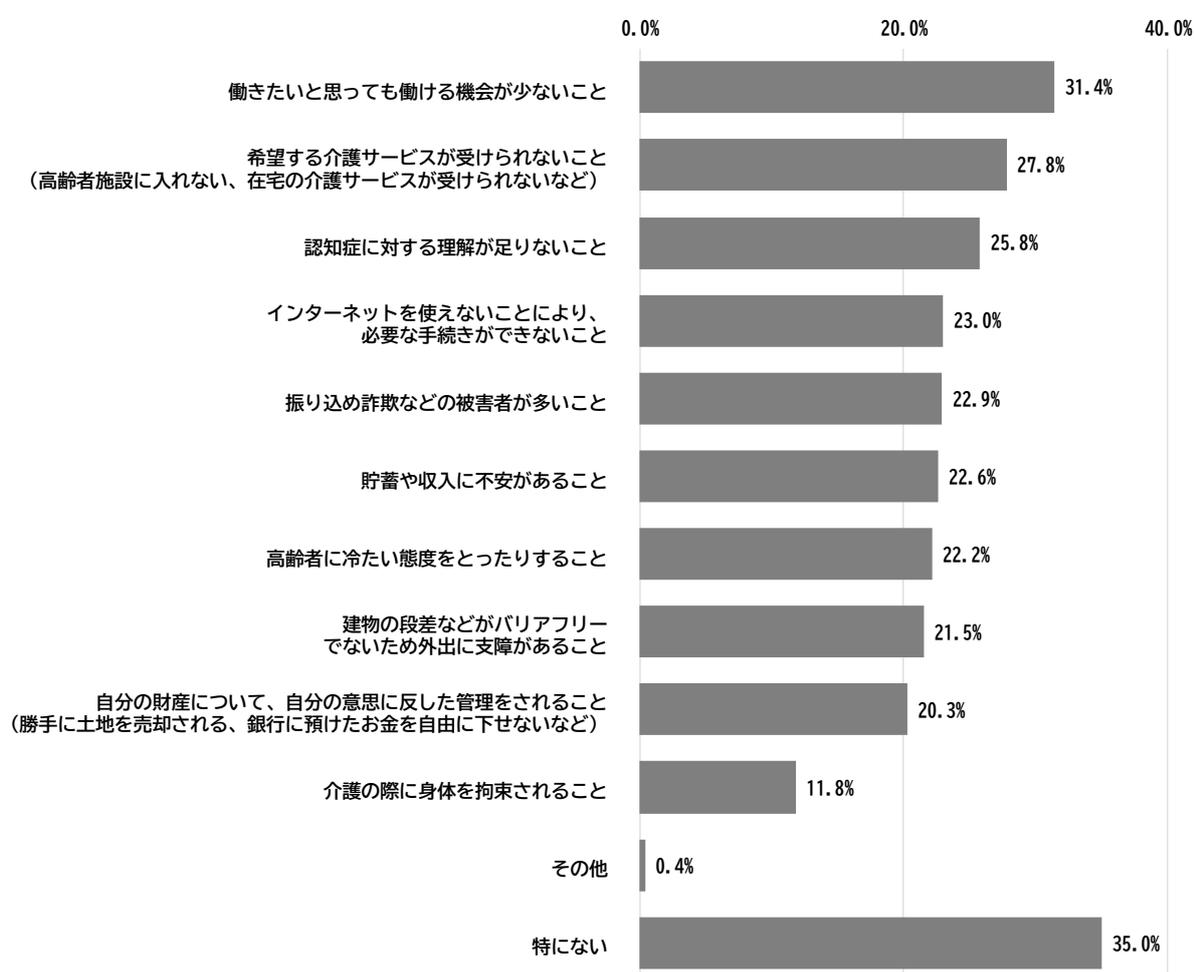


5. 高齢者の人権について

問13 高齢者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(複数回答)

高齢者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「働きたいと思っても働ける機会が少ないこと」の31.4%が最も高く、次いで「希望する介護サービスが受けられないこと（高齢者施設に入れない、在宅の介護サービスが受けられないなど）」が27.8%となった。「特にない」が35.0%となった。

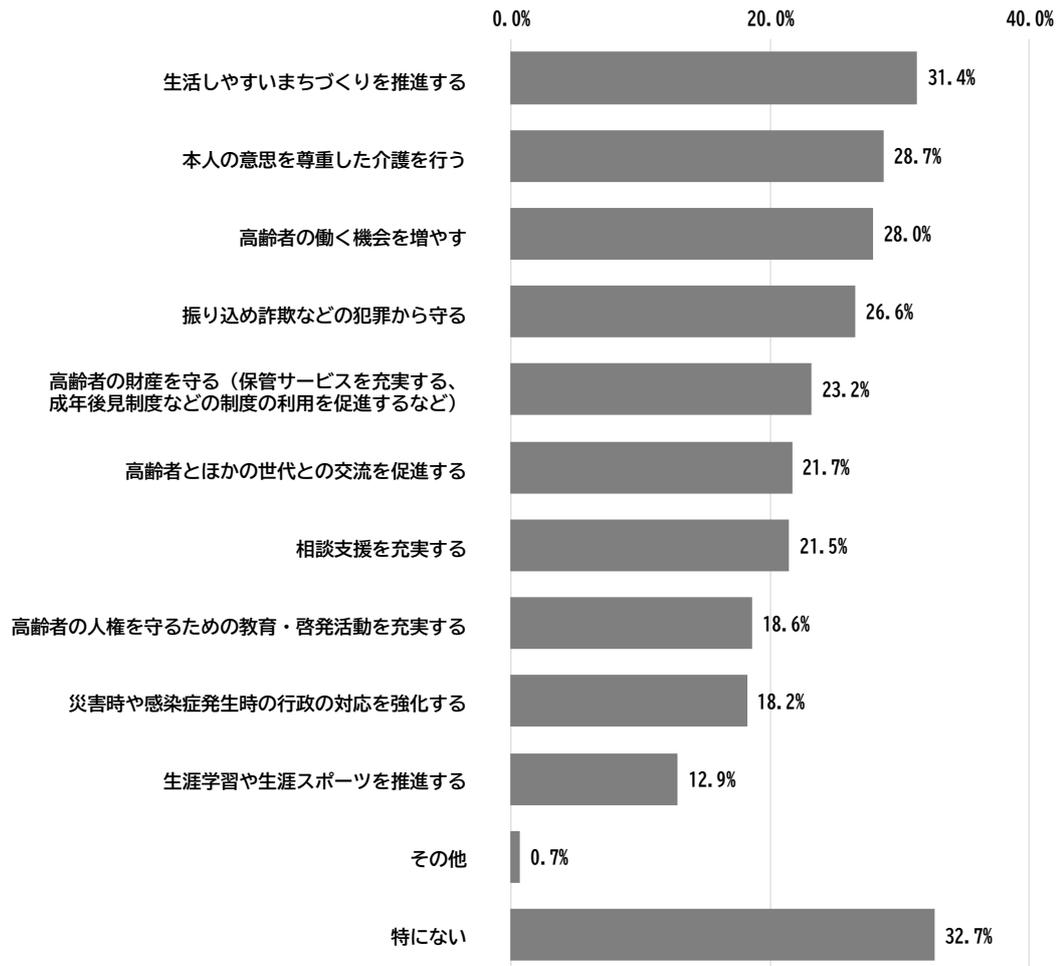
【全体集計】 n=3,047



問14 高齢者の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

高齢者の人権を守るために必要だと思うことは、「生活しやすいまちづくりを推進する」の31.4%が最も高く、次いで「本人の意思を尊重した介護を行う」が28.7%となった。「特にない」が32.7%となった。

【全体集計】 n=3,047

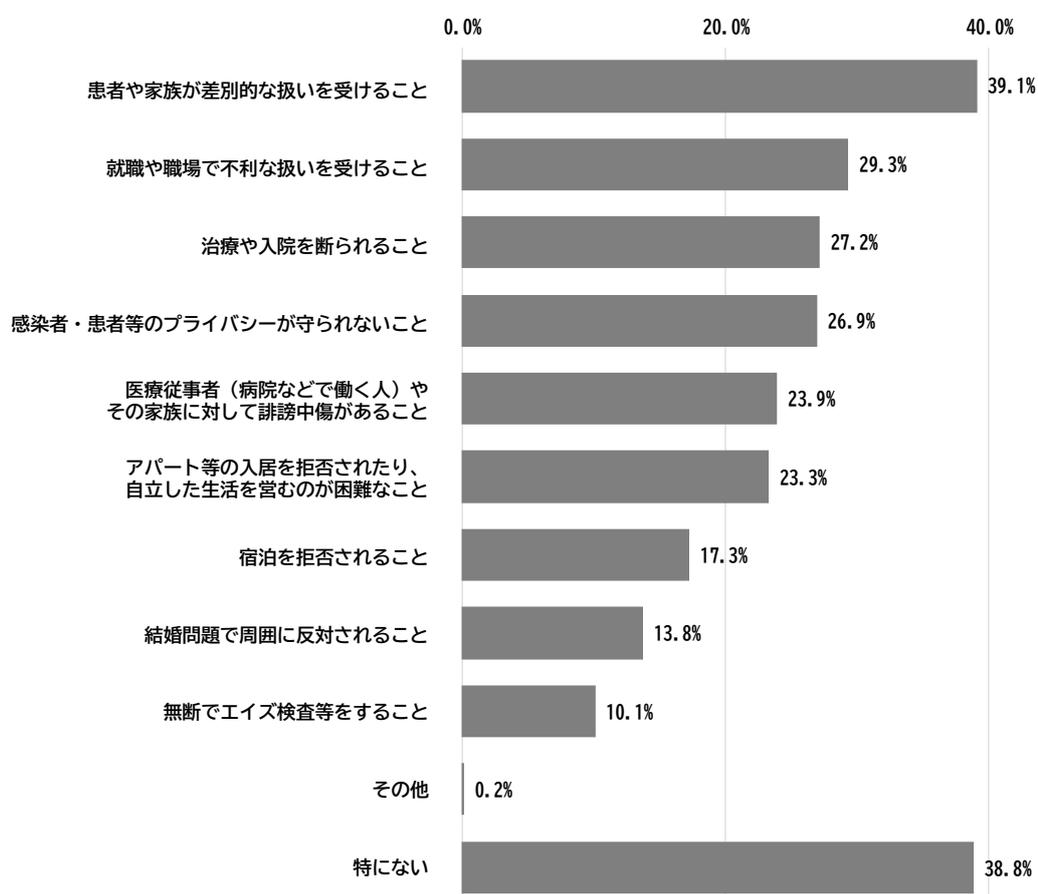


6. 疾病等に関する人権課題について

問15 疾病等（例 HIV感染症、ハンセン病、がん、肝炎、難病、新型コロナウイルス感染症 など）の影響で人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
（複数回答）

疾病等（例 HIV感染症、ハンセン病、がん、肝炎、難病、新型コロナウイルス感染症 など）の影響で人権が尊重されていないと感じる状況は、「患者や家族が差別的な扱いを受けること」の39.1%が最も高く、次いで「就職や職場で不利な扱いを受けること」が29.3%となった。「特にない」が38.8%となった。

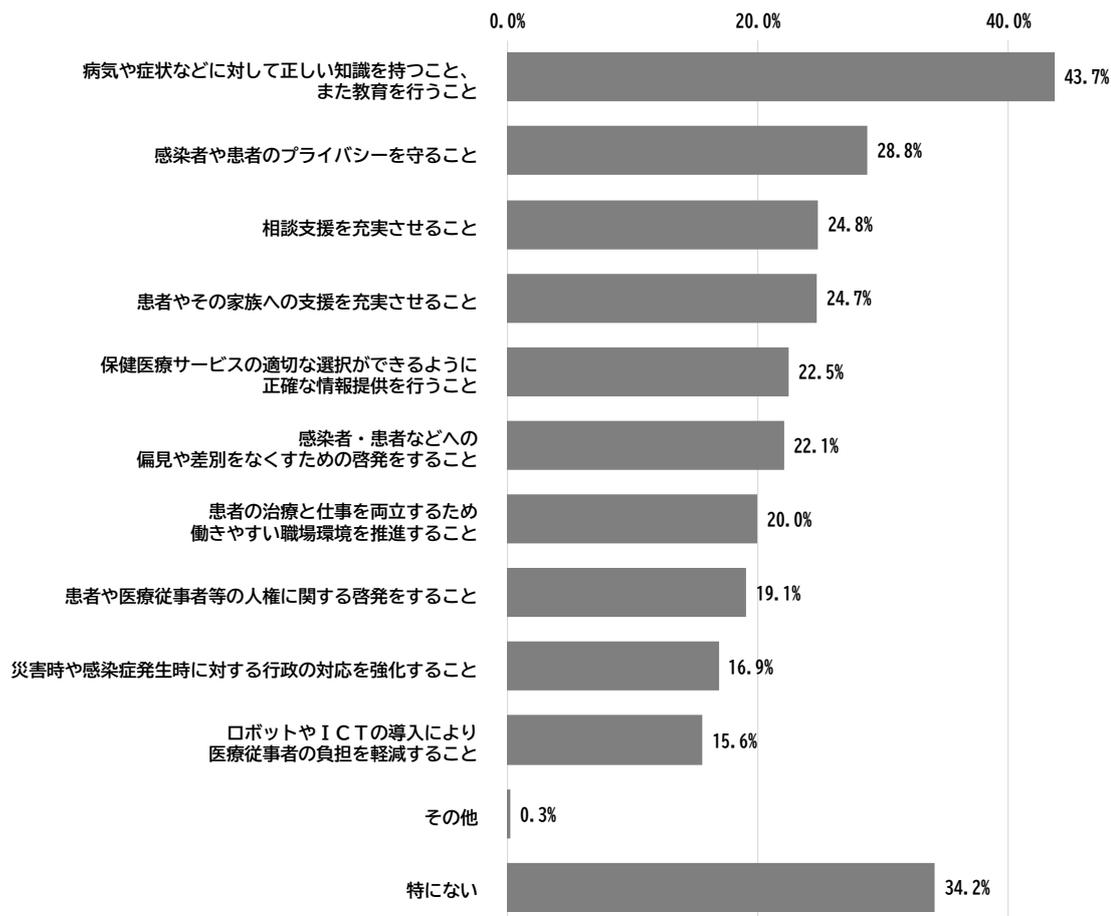
【全体集計】 n=3,047



問16 疾病等に係る人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

疾病等に係る人権を守るために必要だと思うことは、「病気や症状などに対して正しい知識を持つこと、また教育を行うこと」の43.7%が最も高く、次いで「感染者や患者のプライバシーを守ること」が28.8%となった。「特にない」が34.2%となった。

【全体集計】 n=3,047



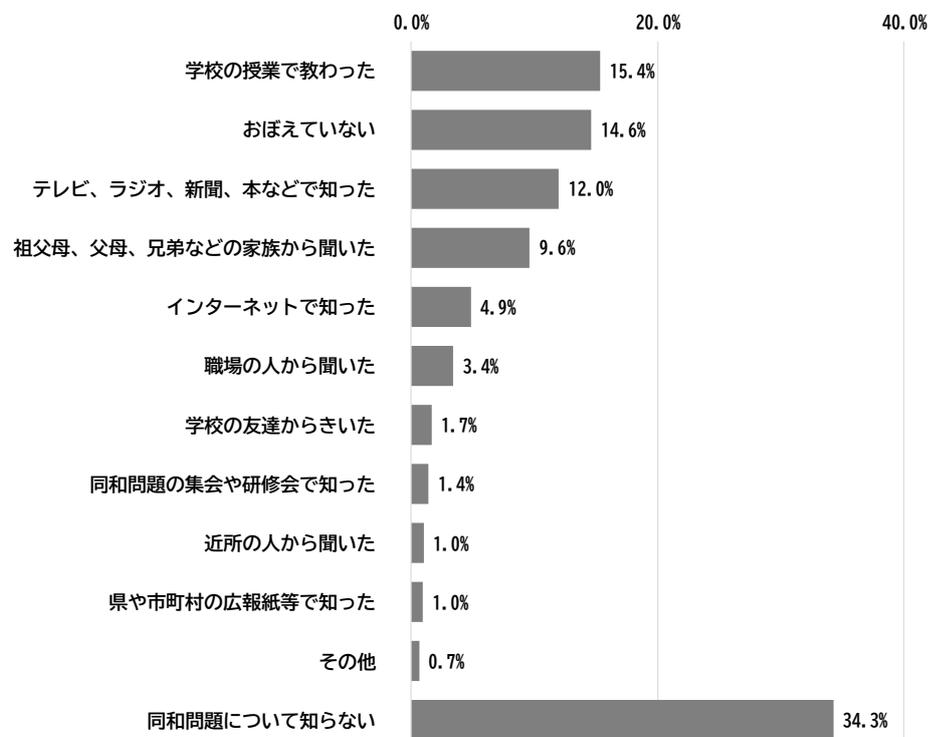
7. 同和問題（部落差別）について

問17 同和問題（部落差別）について初めて知ったきっかけは何ですか。

※同和問題（部落差別）とは、一部の人々が、特定の地域出身であることや、そこに住んでいることを理由に日常生活の上で様々な差別を受けるといった、わが国固有の人権課題のことをいいます。（単一回答）

同和問題（部落差別）について初めて知ったきっかけは、「学校の授業で教わった」の15.4%が最も高く、次いで「おぼえていない」が14.6%となった。「同和問題について知らない」は34.3%となった。

【全体集計】 n=3,047

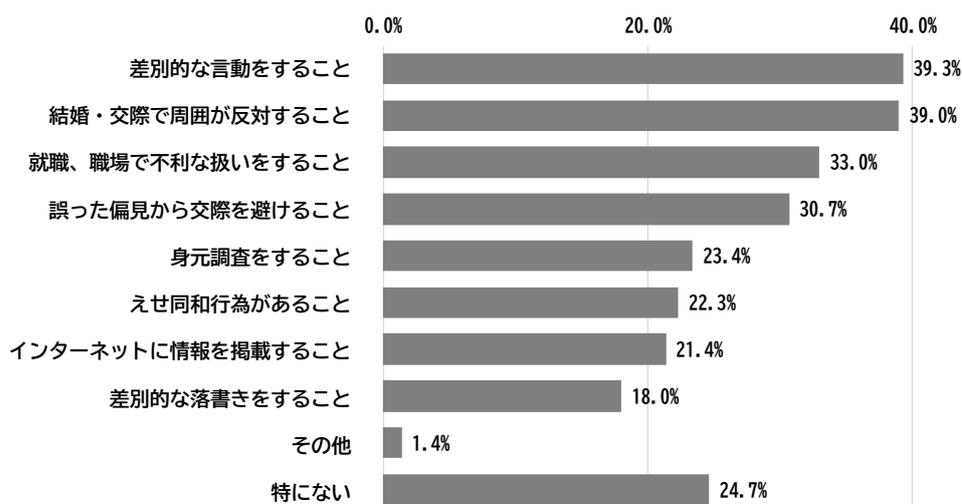


【問17で「同和問題について知らない」と答えた方以外】

問18 同和問題（部落差別）に関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか。
（複数回答）

同和問題（部落差別）に関し、現在起きていると思う問題は、「差別的な言動をすること」の39.3%が最も高く、次いで「結婚・交際で周囲が反対すること」が39.0%、「就職、職場で不利な扱いをすること」が33.0%となった。

【全体集計】 n=2,003

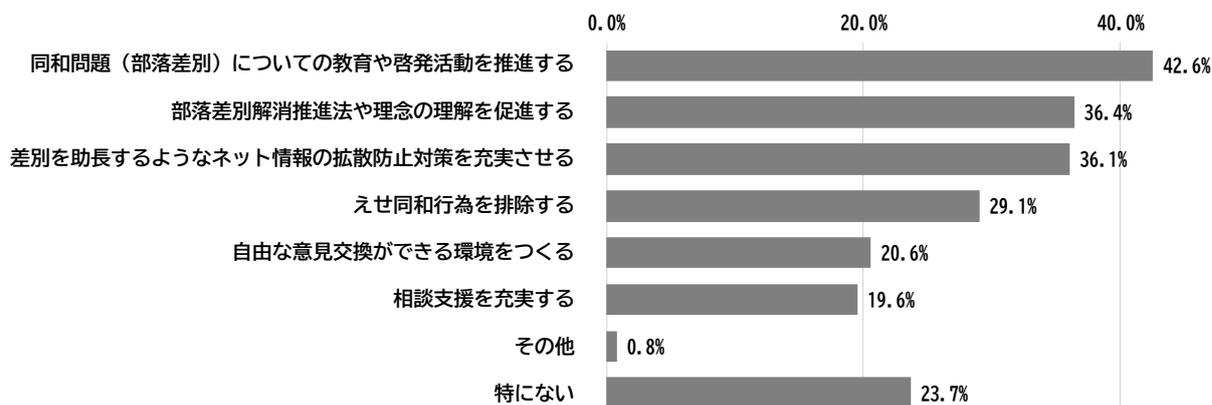


【問17で「同和問題について知らない」と答えた方以外】

問19 同和問題（部落差別）の解決には、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

同和問題（部落差別）の解決に必要なと思うことは、「同和問題（部落差別）についての教育や啓発活動を推進する」の42.6%が最も高く、次いで「部落差別解消推進法や理念の理解を促進する」が36.4%、「差別を助長するようなネット情報の拡散防止対策を充実させる」が36.1%となった。

【全体集計】 n=2,003

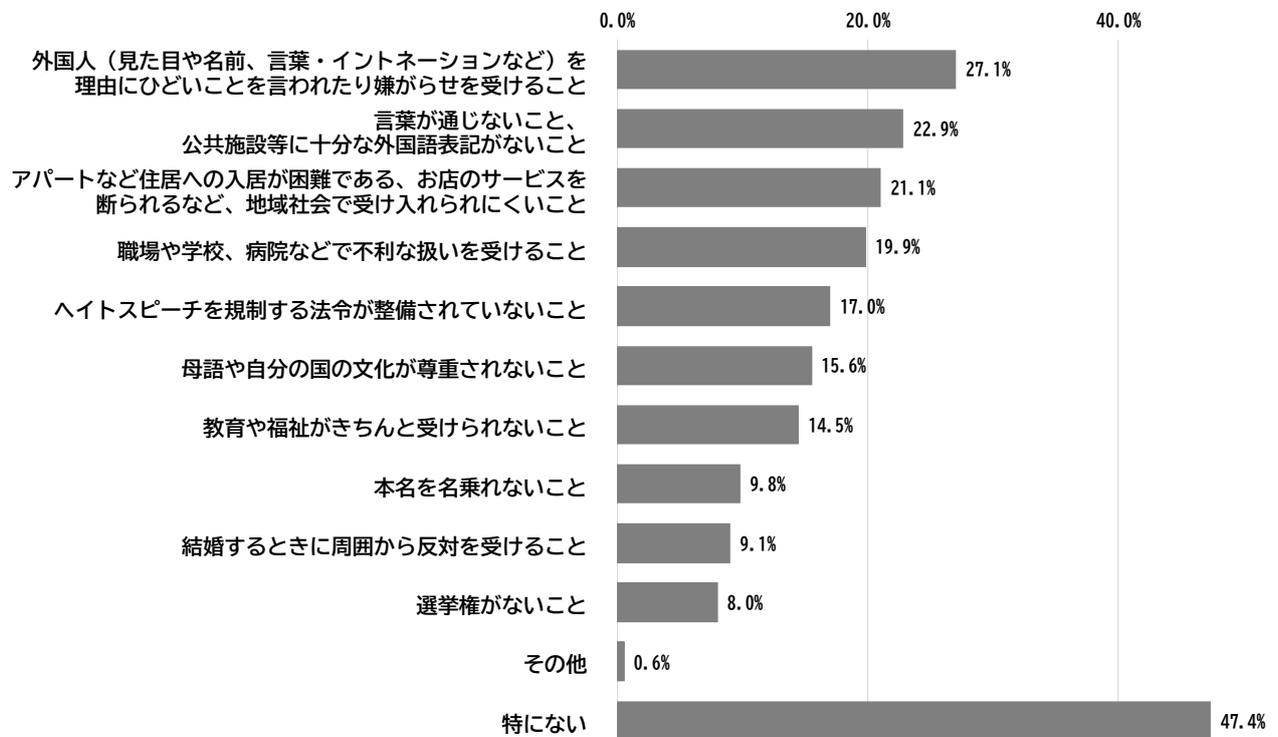


8. 外国籍県民等の人権について

問20 外国籍県民等の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(複数回答)

外国籍県民等の人権が尊重されていないと感じる状況は、「外国人（見た目や名前、言葉・イントネーションなど）を理由にひどいことを言われたり嫌がらせを受けること」の27.1%が最も高く、次いで「言葉が通じないこと、公共施設等に十分な外国語表記がないこと」が22.9%となった。「特にない」が47.4%となった。

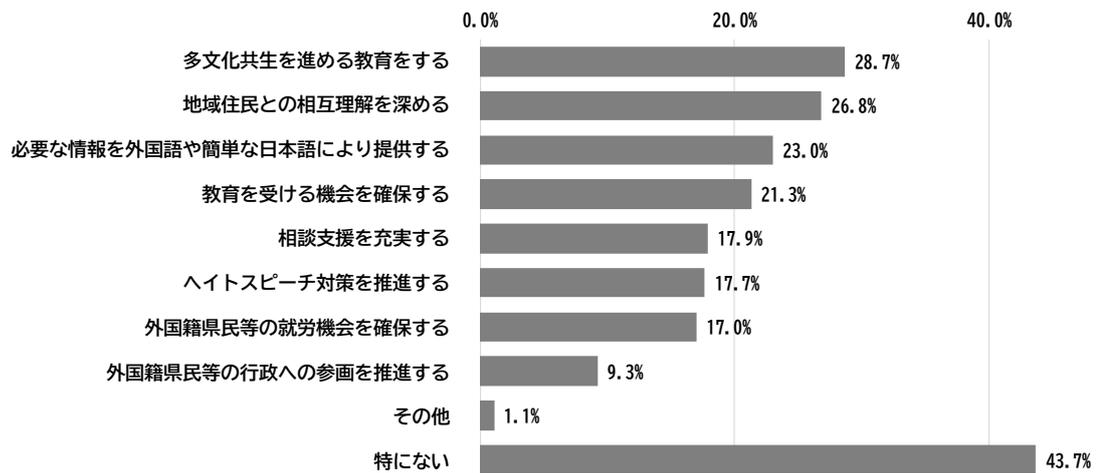
【全体集計】 n=3,047



問21 外国籍県民等の人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

外国籍県民等の人権を守るために必要だと思うことは、「多文化共生を進める教育をする」の28.7%が最も高く、次いで「地域住民との相互理解を深める」が26.8%となった。「特にない」が43.7%となった。

【全体集計】 n=3,047

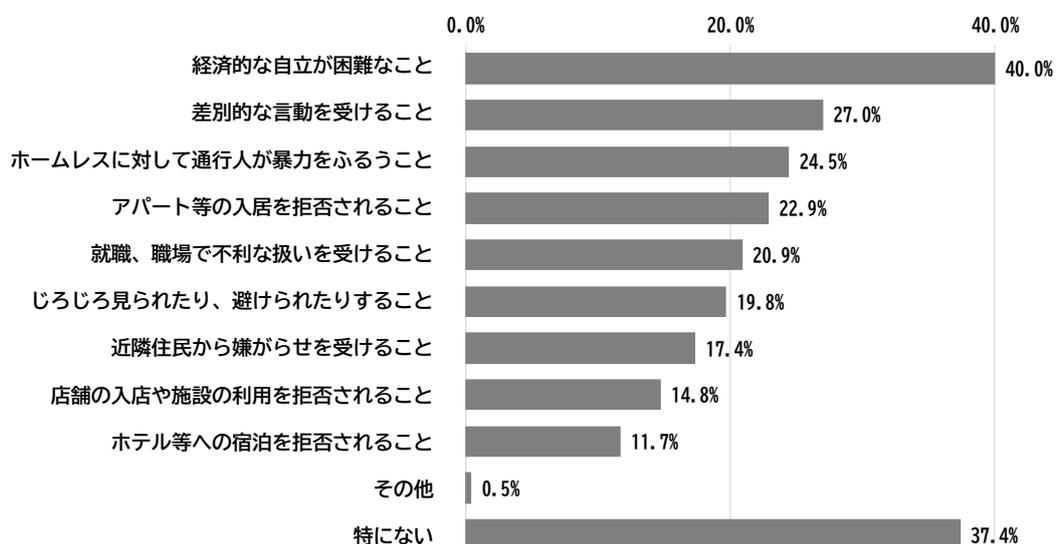


9. 貧困等に関する人権課題について

問22 貧困等にかかる人権課題において、貧困等に苦しむ方の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（複数回答）

貧困等にかかる人権課題において、貧困等に苦しむ方の人権が尊重されていないと感じる状況は、「経済的な自立が困難なこと」の40.0%が最も高く、次いで「差別的な言動を受けること」が27.0%となった。「特にない」が37.4%となった。

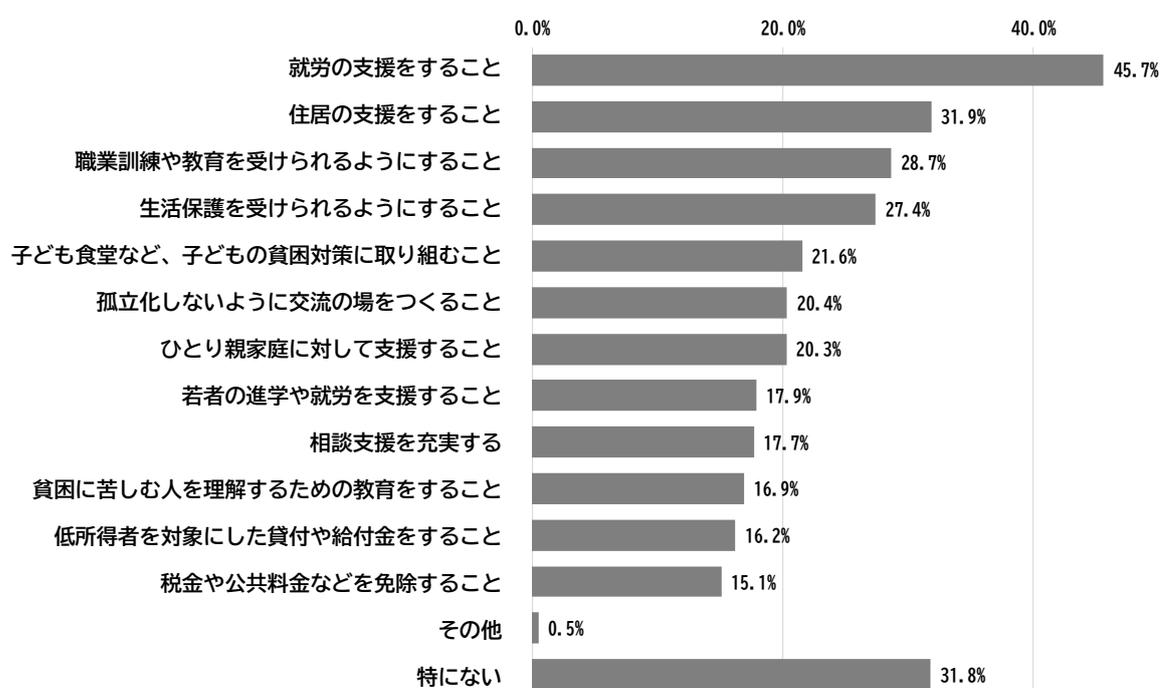
【全体集計】 n=3,047



問23 貧困等にかかる人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

貧困等にかかる人権を守るために必要だと思うことは、「就労の支援をすること」の45.7%が最も高く、次いで「住居の支援をすること」が31.9%となった。「特にない」が31.8%となった。

【全体集計】 n=3,047

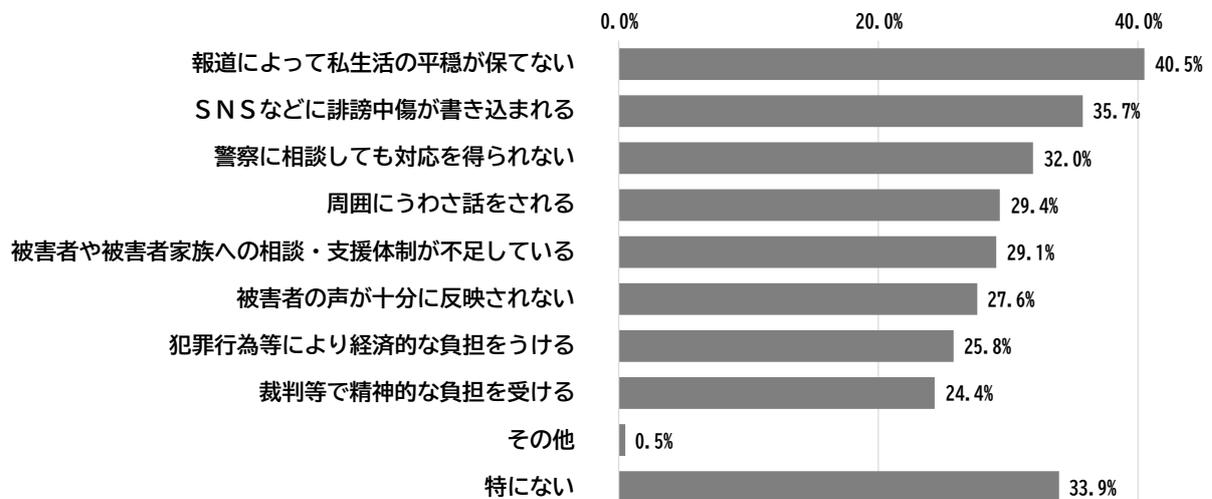


10. 犯罪被害者等の人権について

問24 犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(複数回答)

犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じる状況は、「報道によって私生活の平穏が保てない」の40.5%が最も高く、次いで「SNSなどに誹謗中傷が書き込まれる」が35.7%となった。「特にない」が33.9%となった。

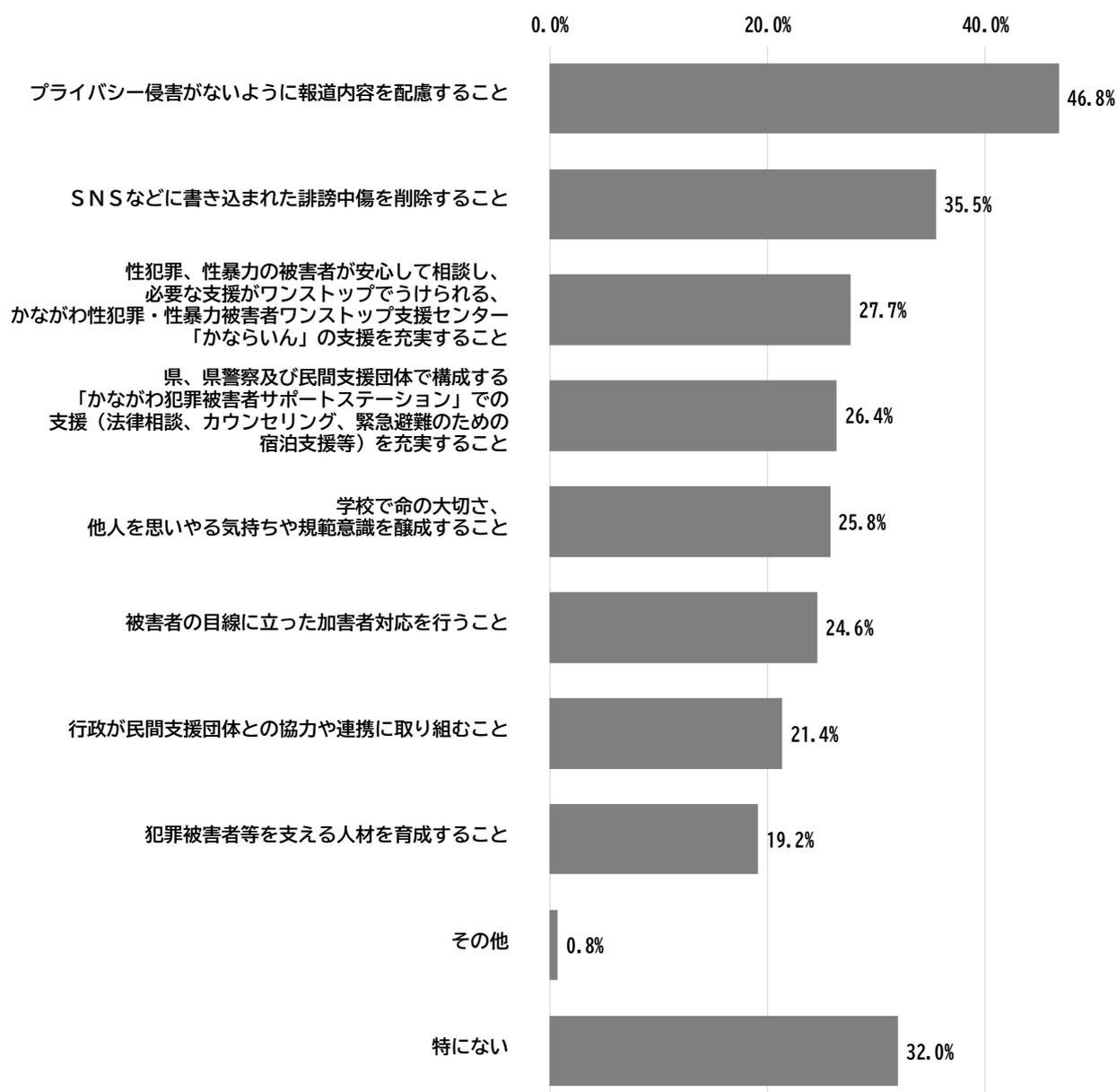
【全体集計】 n=3,047



問25 犯罪被害者等の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

犯罪被害者等の人権を守るために必要だと思うことは、「プライバシー侵害がないように報道内容を配慮すること」の46.8%が最も高く、次いで「SNSなどに書き込まれた誹謗中傷を削除すること」が35.5%となった。「特にない」が32.0%となった。

【全体集計】 n=3,047

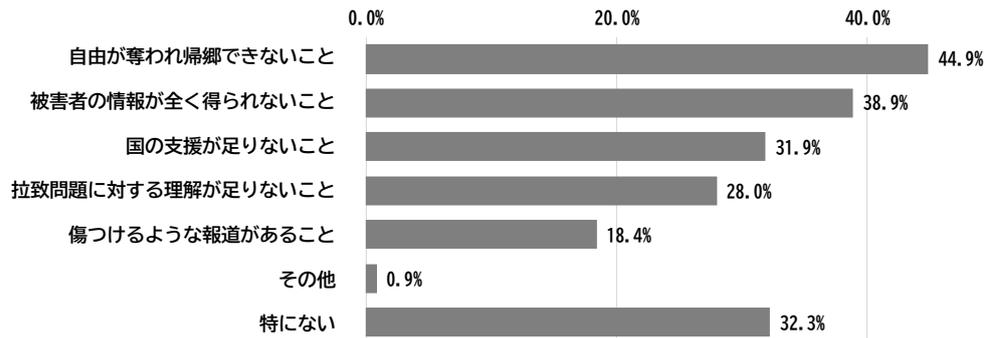


11. 北朝鮮当局による拉致問題に関する人権課題について

問26 北朝鮮当局による拉致問題について、どのようなことが人権課題だと思いますか。
(複数回答)

北朝鮮当局による拉致問題について人権課題だと思うことは、「自由が奪われ帰郷できないこと」の44.9%が最も高く、次いで「被害者の情報が全く得られないこと」が38.9%となった。「特にない」が32.3%となった。

【全体集計】 n=3,047

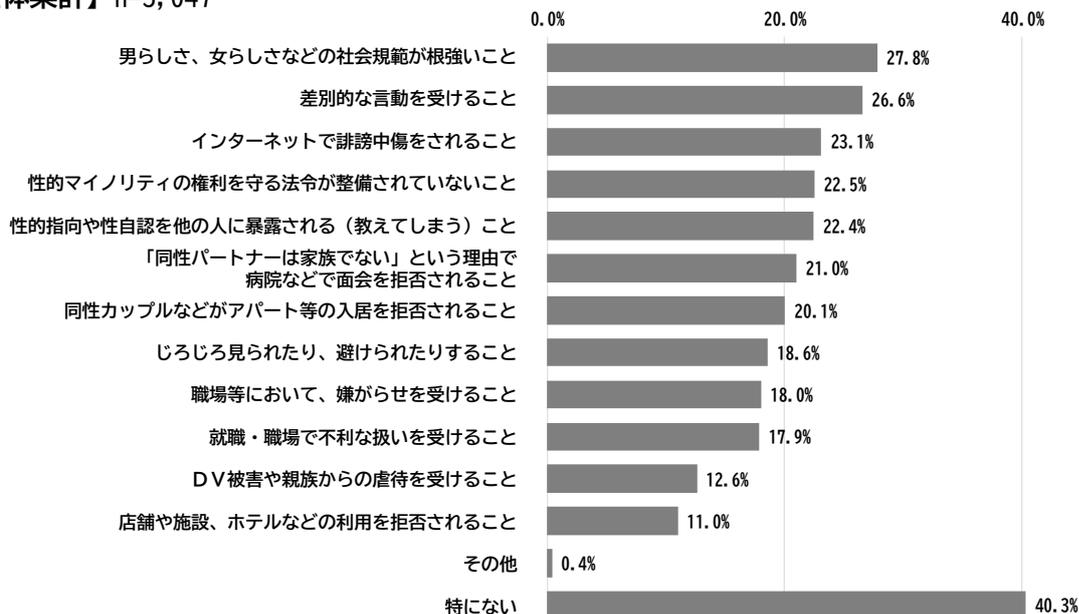


12. 性的マイノリティに関する人権について

問27 性的マイノリティの人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(複数回答)

性的マイノリティの人権が尊重されていないと感じる状況は、「男らしさ、女らしさなどの社会規範が根強いこと」の27.8%が最も高く、次いで「差別的な言動を受けること」が26.6%となった。「特にない」が40.3%となった。

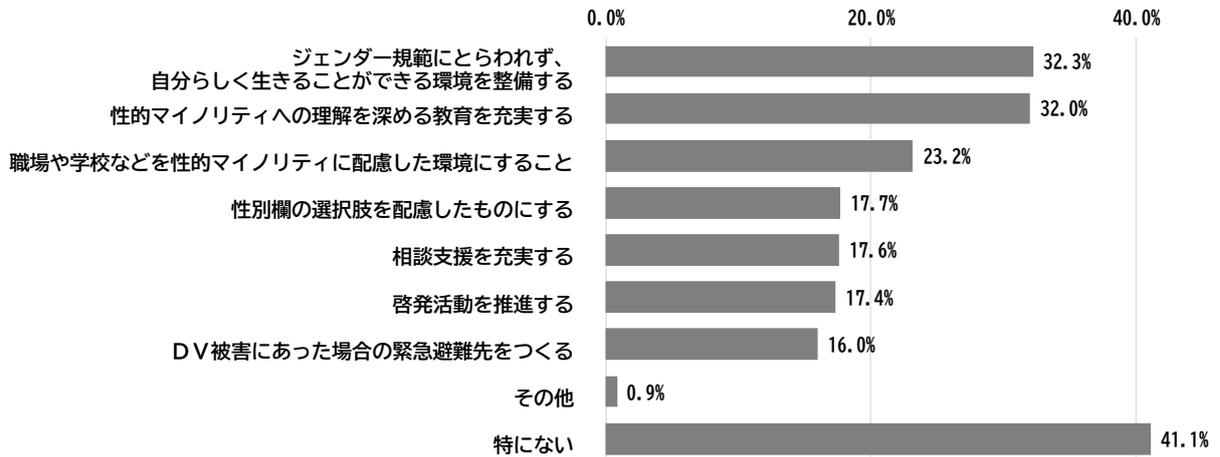
【全体集計】 n=3,047



問28 性的マイノリティの人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

性的マイノリティの人権を守るために必要だと思うことは、「ジェンダー規範にとらわれず、自分らしく生きることができる環境を整備する」の32.3%が最も高く、次いで「性的マイノリティへの理解を深める教育を充実する」が32.0%となった。「特にない」が41.1%となった。

【全体集計】 n=3,047

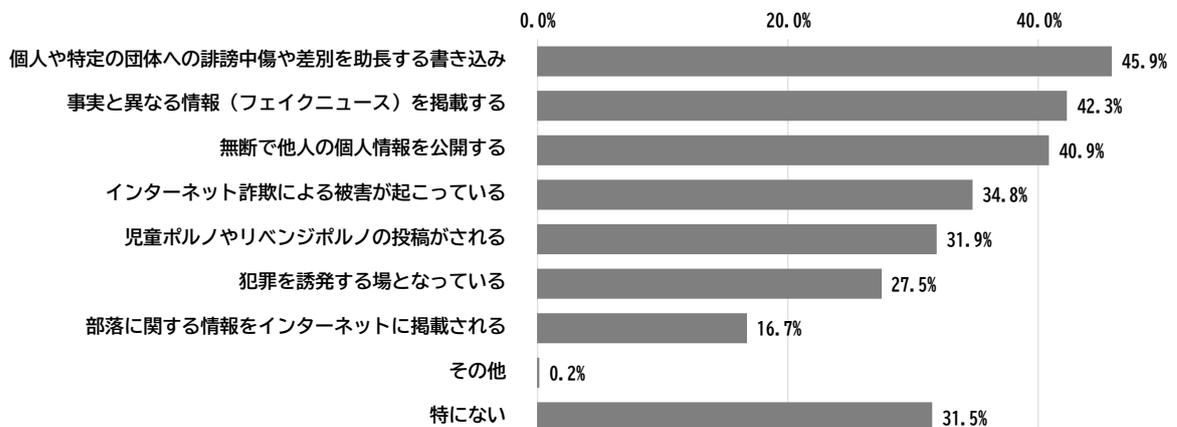


13. インターネットによる人権侵害について

問29 インターネットによる人権侵害に関して、どのような問題が起きていると思いますか。（複数回答）

インターネットによる人権侵害に関して起きていると思う問題は、「個人や特定の団体への誹謗中傷や差別を助長する書き込み」の45.9%が最も高く、次いで「事実と異なる情報（フェイクニュース）を掲載する」が42.3%、「無断で他人の個人情報を公開する」が40.9%となった。

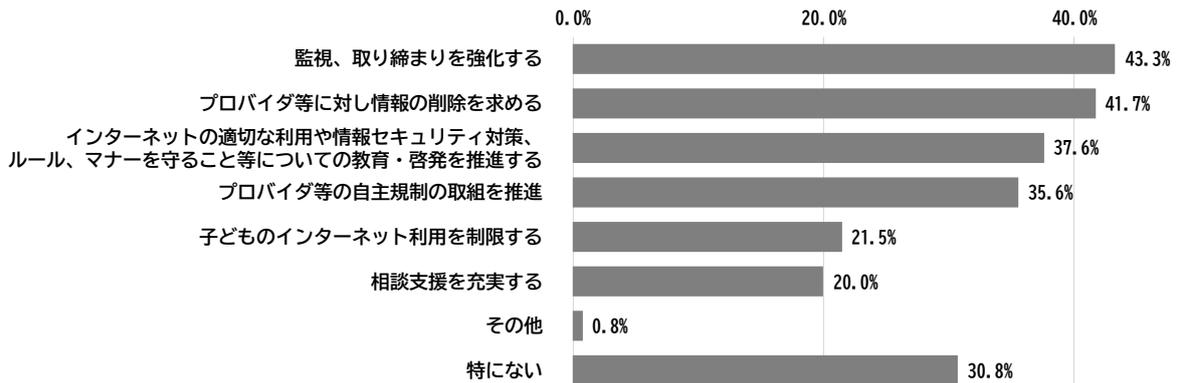
【全体集計】 n=3,047



問30 インターネットによる人権侵害を防ぐにはどのようなことが必要だと思いますか。
(複数回答)

インターネットによる人権侵害を防ぐために必要だと思うことは、「監視、取り締まりを強化する」の43.3%が最も高く、次いで「プロバイダ等に対し情報の削除を求める」が41.7%、「インターネットの適切な利用や情報セキュリティ対策、ルール、マナーを守ること等についての教育・啓発を推進する」が37.6%となった。

【全体集計】 n=3,047

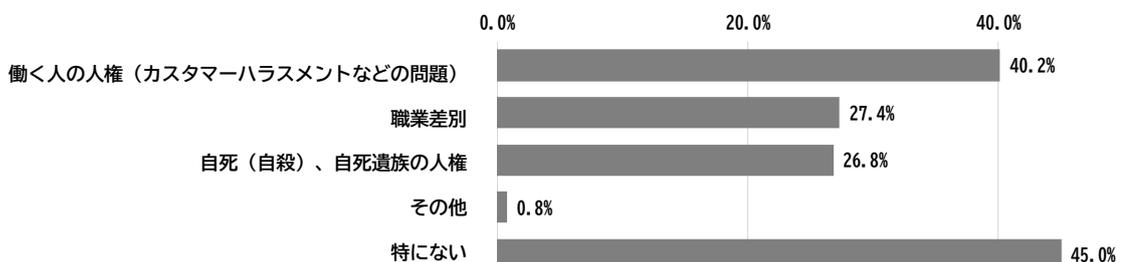


14. その他

問31 神奈川県では「かながわ人権施策推進指針」を策定し、子ども、女性、障がい者、高齢者、疾病等にかかる人権課題、同和問題（部落差別）、外国籍県民等、貧困等にかかる人権課題、犯罪被害者等、北朝鮮当局によって拉致された被害者等、性的マイノリティ、インターネットによる人権侵害といった分野の取組の方向性を定めています。こうした人権課題以外にも、アイヌ民族の人権課題、災害発生時の人権課題、ケアラー（ヤングケアラー）の人権課題、孤独・孤立による人権課題を「様々な人権課題」として位置付けています。こうした人権課題以外に「かながわ人権施策推進指針」に追加した方が良い分野は何だと思いませんか。（複数回答）

上記の人権課題以外に「かながわ人権施策推進指針」に追加した方が良いと思う分野は、「働く人の人権（カスタマーハラスメントなどの問題）」の40.2%が最も高く、次いで「職業差別」が27.4%となった。「特にない」が45.0%となった。

【全体集計】 n=3,047



15. 自由記述欄

問32 自由記述欄（その他ご意見等ございましたらご記載ください）。（自由回答）

自由記述欄で意見をたずねたところ、236件の回答がありました。項目ごとの意見の概要は次のとおりで、人権全般について多くの意見を頂きました。

項目	件数	概要
人権全般について	103	差別のない明るい社会になってほしい、人権問題のむずかしさについて、人権施策に対する税金の使い方へのご意見 など
人権教育について	24	教育・啓発の必要性について、社会人への人権教育について、相談体制について など
外国籍県民の人権について	21	外国籍県民の人権施策について、ヘイトスピーチについて など
ジェンダーに関する人権について	9	性的マイノリティの人権施策について、同性婚について、男性差別について など
子どもの人権について	8	子どもの貧困について、子どもへの支援が不足していることについて など
ネット上の人権問題	6	インターネット上の誹謗中傷について、SNS等の使い方について など
障がい者の人権について	5	精神障がい者の人権について、障がい者への支援について など
同和問題について	3	同和問題の啓発事業について など
その他	57	調査に関するご意見等 など
合計	236	

令和7年度 神奈川県人権意識調査
調査結果報告書（概要版）

調査主体 : 神奈川県福祉子どもみらい局
共生推進本部室人権・同和グループ
神奈川県横浜市中区日本大通 1
電話 : 045-210-3637
調査実施機関 : 株式会社ジック
